

申請者()

< 市内全域共通の景観形成方針 >

項目	配慮事項	チェック欄	配慮できなかった理由等
敷地利用	現況の地形を生かした敷地利用を図る。	はい いいえ 該当なし	居室の日当たりを優先した配置としたため。
	前面道路に対してゆとりをもった配置とする。	はい いいえ 該当なし	
	駐車場等は、前面道路からの見え方に配慮した配置とする。	はい いいえ 該当なし	
	大規模な敷地では、街角空間の創出や公開空地の設置等、歩行者にとってやさしさの感じられる整備に努める。また、前面道路の歩行者空間が不十分な地区においては、歩道状の空地を確保する。	はい いいえ 該当なし	
建築物等の外観 (色彩を除く)	街並みと調和した規模、高さ、形態および意匠とする。	はい いいえ 該当なし	
	美しいスカイラインを形成する屋根の形態および意匠とする。	はい いいえ 該当なし	
	素材は周辺と調和し、かつ時間とともに味わいが出る、耐久性の高いものとする。	はい いいえ 該当なし	
	金属やガラスなど反射率の高い素材は、周辺に対し長時間太陽光を反射することのないよう配慮する。	はい いいえ 該当なし	
	大規模な建築物にあっては、圧迫感の軽減に努めるものとし、分節化をする等、適度に变化のある外観とする。	はい いいえ 該当なし	
建築物等の色彩	色彩は、街並みの調和に配慮し、地域の色彩環境から突出する色使いを避ける。	はい いいえ 該当なし	
接道部・緑化 (生垣、フェンス)	敷地内の緑化に努め、周囲からも眺められるように工夫する。	はい いいえ 該当なし	駐車台数を確保したため。
	壁面後退部分の舗装仕上げは、歩道との連続性を図る。	はい いいえ 該当なし	
	歩行者の目線の高さを超える透過性の無い塀やフェンス等の設置は避ける。	はい いいえ 該当なし	
	前面道路から見える位置にある駐車場・駐輪場は、緑化や修景に努める。	はい いいえ 該当なし	
	高さ10mを超える既存樹木については保全する。	はい いいえ 該当なし	
	道路に面する部分の木竹は伐採を避ける。やむを得ず伐採する場合は、代替え植栽に努める。	はい いいえ 該当なし	
	大規模な建築物にあっては、出入口やアプローチの周辺について、植栽などによりうおいを演出する。	はい いいえ 該当なし	
広告物	建築物とのバランスや街並みとの調和に配慮した大きさ・デザインとする。	はい いいえ 該当なし	
	広告物の表示は最小限とする。	はい いいえ 該当なし	
	同一壁面に表示内容が同じものを複数設置しない。	はい いいえ 該当なし	
	色彩は、原色や多色使いを避け、建築物の地色や街並みと調和した配色とする。	はい いいえ 該当なし	

大和市景観計画の景観形成方針に従い、景観に配慮できなかったかどうかを項目ごとにチェックしてください。質問の内容は主に建築物の新築を想定したものが多いため、今回の計画が質問に当てはまらない場合は「該当なし」にチェックを入れてください。

景観に配慮できなかった項目があった場合は、「いいえ」にチェックし、右の欄に配慮できなかった理由等を記入してください。

夜間景観	過度な夜間照明は避ける。	はい いいえ 該当なし	
付帯設備	機械室、ゴミ置き場、屋外階段、その他付帯設備等は目立たないように配置するか、建築物本体と調和した形態とする。	はい いいえ 該当なし	
擁壁 (ようへき)	擁壁の仕上げは、無機質、単調な表情とならないよう配慮するか、緑化等による修景を行う。	はい いいえ 該当なし	
電線等	電線等が道路を横断する場合には、できる限り横断箇所を集約する。	はい いいえ 該当なし	
	電線等を建築物へ架線する場合は、できる限り集約をしたり、裏通り配線等とする。	はい いいえ 該当なし	

< 住宅地の景観形成方針 >

項目	配慮事項	チェック欄	配慮できなかった理由等		
敷地利用	敷地は、周辺と調和した規模とする。	はい いいえ 該当なし			
建築物等の外観 (色彩を除く)	戸建て住宅の屋根は、勾配屋根を基調とし、周辺と調和する形態意匠とする。	はい いいえ 該当なし			
建築物等の色彩	建築物および工作物の色彩(基調色)は、次の推奨色の範囲内とする。	はい いいえ 該当なし 色彩に関しては下の表も記入してください。			
	色相			明度	彩度
	0YR(10R)~5Y			3以上	4以下
	上記以外の有彩色			3以上	1以下
	無彩色	3以上	0(使用可)		
接道部・緑化 (生垣、フェンス)	接道部は、生垣等の植栽によって緑化し、緑が連なる街並みを形成する。	はい いいえ 該当なし			
広告物	自家用以外の広告物は表示しない。	はい いいえ 該当なし			
	屋上広告物は設置しない。	はい いいえ 該当なし			
	住環境に配慮した夜間景観形成のため、点滅照明等は使用しない。	はい いいえ 該当なし			
夜間景観	光量や光源の向き等は、住環境に配慮する。	はい いいえ 該当なし			

当該計画が建築物または工作物の場合、色彩については、下の表も記入してください。

建築物等の色彩計画(マンセル値)を記入してください。外観にアクセント色を使用する場合はアクセント部分の面積等も記入してください。

外観の色彩		素材	色相	明度	彩度
		外壁	吹き付けタイル	10R	7.0
外壁	吹き付けタイル		N	7.0	
屋根	コンクリート 仕上げ	5YR		6.0	2.0
アクセント色	吹き付けタイル	5R		3.0	10.0
アクセント部分の面積		アクセント部分の面積	見付面積	アクセント色が占める割合	
	東立面	10 m ²	100 m ²	10%	
	南立面	45 m ²	300 m ²	15%	
	西立面	10 m ²	100 m ²	10%	
	北立面	20 m ²	300 m ²	6.7%	

当該計画が建築物または工作物の場合は、仕上げ素材と、色彩についてはマンセル値を記入してください。まだ具体的に決まっていない場合は、計画している色に近い数値で記入してください。3色以上使用の場合は、面積の広い2色を記入してください。着色していない材料の場合は「素材色」と記入してください。

各立面の見付面積と、その中でアクセントカラーが占める面積、その割合を記入してください。(企業コーポレートカラー等で色彩基準から外れる鮮やかな色彩を使用する場合は、各立面の20%未満であれば可とします。)

【見付面積】: 建築物の外壁の一つの面における垂直投影面積
(建築物を真横から見た姿 = 立面図)